学校番号	414

令和８年度　地歴公民科

教科	公民	科目	時事演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ニュース検定　公式テキスト＆問題集「時事力」基礎編　（ 毎日新聞出版 ）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

【授業の目的】
生徒の時事力の向上を通じて、現代社会の問題や課題に目を向け（ウォッチングしながら考察）、自身の意見を形成できる能力を身に付けさせることを目的とする。その上でニュース検定の３級合格をめざす。
【学習方法】
ニュース検定副教材のテキスト＆問題集をベースに進めていく。テーマごとにディスカッションテーマ（（Ex）：「選挙権の引き下げに賛成？反対？」など）を出し、テーマ沿った賛否両論の意見を考える。その上で選挙権に関する基本的な知識（（Ex）：日本の政治や選挙の仕組み・１票格差の課題の現状）などについて演習問題を通じて、理解を深めていく。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
政治・経済・国際・社会・情報・環境等の時事分野に関する基礎的な知識及び用語、制度の仕組みについて理解し、新聞記事やニュース等の情報から事実、背景及び影響を読み取り、必要な情報を整理・把握する技能を身に付けることを目標とする。

【思考力、判断力、表現力等】
社会の出来事を多面的・多角的に考察し、異なる立場や視点を踏まえながら課題を捉え、根拠に基づいて自らの考えを形成し、それを論理的かつ適切に表現する力を育成することを目標とする。

【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の動向に対する関心を高め、社会の課題を自分事として捉えようとする態度を養うとともに、情報を批判的に受け止め、多様な価値観を尊重しながらよりよい社会の在り方について継続的に考えようとする姿勢を育成することを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ニュース検定３級テキスト及び関連資料をもとに、政治・経済・国際・社会・情報・環境等の時事分野に関する基礎的な知識や用語、制度の仕組みを理解しているかを評価する。また、ニュースや新聞記事から必要な情報を読み取り、事実・背景・影響等を整理し、要点を把握する技能を身に付けているかを評価する。	ニュースで扱われている社会の出来事や課題について、多面的・多角的に考察し、異なる立場や視点を踏まえて判断しているかを評価する。また、根拠に基づいて自らの考えを形成し、それを文章、発表、討議等を通して論理的かつ適切に表現しているかを評価する。	日常のニュースや社会の動きに関心を持ち、課題に対して主体的に調べ、考え、学習に取り組もうとしているかを評価する。また、多様な意見や価値観を尊重しながら他者と協働し、よりよい社会の在り方について継続的に考えようとする姿勢を評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	政治	1 私たちの民主主義 2 日本国憲法の行方 3 どうなる 外交と防衛 4 地方自治のいま	a　知識・技能 民主主義、憲法、外交・防衛、地方自治に関する基本的な制度、原理及び用語について理解し、関連するニュースや資料から必要な情報を読み取り、事実、背景及び課題を整理・把握することができる。 b　思考・判断・表現 国内外の政治・社会の諸課題について、多面的・多角的に考察し、異なる立場や視点を踏まえながら自らの考えを形成し、その判断や意見を根拠に基づいて論理的かつ適切に表現することができる。 c　主体的に学習に取り組む態度 現代社会の動向や地域・国際社会の課題に関心を持ち、ニュースや資料を主体的に収集・活用しながら学習に取り組むとともに、多様	定期考査・小テスト	レポート課題(資料比較、賛否整理、課題分析) ト ・ディスカッション・討論への参加内容	振り返りシート・授業中の取り組みの観察

			な意見や価値観を尊重し、よりよい社会の在り方について継続的に考えようとしている。			
	経済	5 潮目変わる日本経済 6 先行き不透明な世界経済 7 日本産業のいま 8 転換期迎えたエネルギー	a　知識・技能 日本及び世界の経済の動向、産業構造の変化、エネルギー政策及び資源問題に関する基本的な仕組みや用語を理解し、関連するニュースや資料から必要な情報を読み取り、事実や課題を整理・把握することができる。 b　思考・判断・表現 経済や産業、エネルギーをめぐる諸課題について、国内外の視点や利害関係の違いを踏まえて多面的に考察し、持続可能性や公平性等の観点から自らの考えを形成し、その判断を根拠に基づいて論理的に表現することができる。 c　主体的に学習に取り組む態度 経済や産業、エネルギー問題に対して関心を持ち、主体的に情報を収集・活用しながら学習に取り組むとともに、自らの生活や将来との関わりを意識し、よりよい社会の在り方について継続的に考えようとしている。	定期考査・小テスト	レポート課題(資料比較、賛否整理、課題分析) ・ディスカッション・討論への参加内容	振り返りシート・授業中の取り組みの観察

2学期	暮らし	9 減り続ける日本の人口 10 社会保障のこれから 11 働くということ 12 新しい消費の形	a　知識・技能 人口動態、社会保障制度、労働の仕組み、消費行動の変化に関する基本的な用語や制度について理解し、関連するニュースや資料から必要な情報を読み取り、事実や課題を整理・把握することができる。 b　思考・判断・表現 人口減少や社会保障、働き方、消費をめぐる課題について、世代間、立場、価値観の違いを踏まえて多面的に考察し、持続可能性や公平性の観点から自らの考えを形成し、その判断を根拠に基づいて論理的に表現することができる。 c　主体的に学習に取り組む態度 自らの生活や将来と関わる社会課題に関心を持ち、主体的に情報を収集・活用しながら学習に取り組むとともに、多様な生き方や価値観を尊重し、よりよい社会の在り方について継続的に考えようとしている。	定期考査・小テスト	レポート課題(資料比較、賛否整理、課題分析) ト ・ディスカッション・討論への参加内容	振り返りシート・授業中の取り組みの観察

	社会・環境	13 子どもと教育のいま 14 共に生きる社会へ 15 司法と私たちの社会 16 情報社会に生きる 17 いのちと科学を考える 18 災害と日本 19 地球環境を守るために	a　知識・技能 教育制度、人権と共生社会、司法制度、情報社会の特性、生命科学と倫理、防災・減災、環境問題に関する基本的な仕組みや用語を理解し、関連するニュースや資料から必要な情報を読み取り、事実や課題を整理・把握することができる。 b　思考・判断・表現 現代社会における教育、人権、司法、情報、科学、災害、環境をめぐる諸課題について、多様な立場や価値観を踏まえて多面的・多角的に考察し、社会全体と個人の関わりを意識しながら自らの考えを形成し、その判断を根拠に基づいて論理的に表現することができる。 c　主体的に学習に取り組む態度 現代社会の諸課題に関心を持ち、主体的に情報を収集・活用しながら学習に取り組むとともに、他者の立場や多様な価値観を尊重し、命や人権、環境を大切にしながら、よりよい社会の実現に向けて考え続けようとしている。	定期考査・小テスト	レポート課題(資料比較、賛否整理、課題分析) ト ・ディスカッション・討論への参加内容	振り返りシート・授業中の取り組みの観察

3学期	国際	20トランプ大統領 再び 21 平和な世界どうやって 22 核兵器と向き合う世界	a　知識・技能 国際政治の基本構造、大国の外交政策、国際紛争と平和構築の枠組み、核兵器をめぐる国際的な条約や取り組みについて理解し、関連するニュースや資料から必要な情報を読み取り、事実や課題を整理・把握することができる。 b　思考・判断・表現 国際政治や平和、核兵器をめぐる課題について、国家間の利害や安全保障の視点、人道的・倫理的視点などを踏まえて多面的・多角的に考察し、自らの考えを形成し、その判断を根拠に基づいて論理的に表現することができる。 c　主体的に学習に取り組む態度 国際社会の動向や平和の問題に関心を持ち、主体的に情報を収集・活用しながら学習に取り組むとともに、平和の尊さを自分事として捉え、よりよい国際社会の実現に向けて考え続けようとしている。	定期考査・小テスト	レポート課題(資料比較、賛否整理、課題分析) ト ・ディスカッション・討論への参加内容	振り返りシート・授業中の取り組みの観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度